

排水設備工事責任技術者試験 試験問題の形式について

日本下水道協会では、全47都道府県の試験実施機関で実施する排水設備工事責任技術者試験の試験問題を提供しております。

提供する試験問題の形式は、次のとおりになります。

- (1) 試験問題は、地域性を排除した全国共通的な内容です。
- (2) 試験問題の出題範囲は、下水道法令及び「下水道排水設備指針と解説」の項目です。
- (3) 試験問題の出題設問数は、30問です。
- (4) 試験問題の出題形式は、択一式、穴埋め式、×式を組み合わせたものです。
- (5) 試験問題の解答方式は、マークシート方式です。
- (6) 試験問題の満点は、100点です。(法令：30点、技術：70点)
- (7) 試験問題の合格基準は、総得点70点以上かつ法令・技術の各区分の得点率が50%以上の者です。

試験実施日等の詳細については、各都道府県の試験実施機関にお問い合わせください。

【参考図書】(日本下水道協会発行)

排水設備工事責任技術者講習会用テキスト

排水設備工事責任技術者試験標準問題集

購入に当たっては、当会のホームページ「図書の購入」をご確認ください。

共通試験問題の例

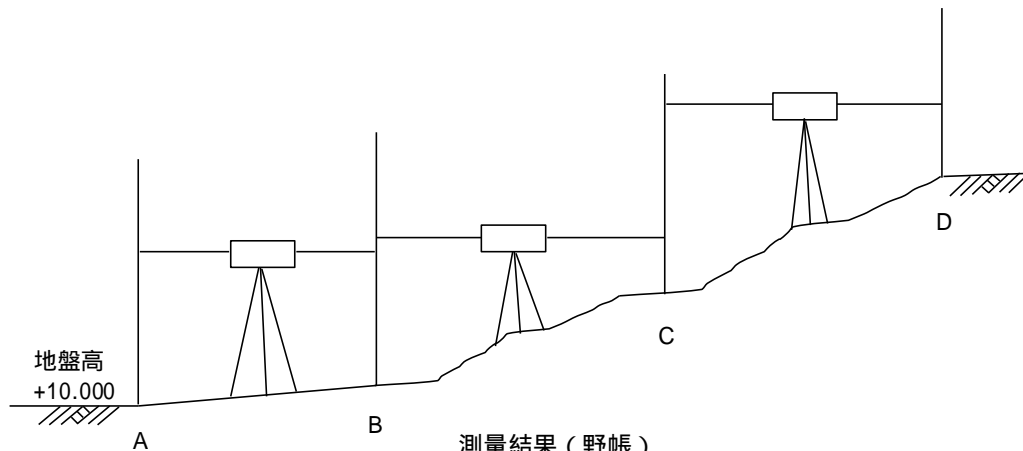
問題 次の記述は、下水道の役割と目的について述べたものです。(ア)～(オ)にあてはまる語句を下の語群からそれぞれ1つ選んでください。

下水道は、雨水の排除による(ア)の防除、汚水の速やかな排除やくみ取便所の水洗化による(イ)の改善及び公共用水域における(ウ)という役割を有している。これらに加えて、高度処理した処理水を(エ)など雑用水あるいは修景用水として、貴重な水資源の有効利用という観点から再利用が進められている。また、最近では、舗装材など汚泥の(オ)、汚泥の乾燥等による燃料化、冷暖房の熱源としての下水道の熱利用等、下水道の役割はますます多様化、拡大している。

(語群)

浸水	飲料水	資源化	自然環境
水洗便所の洗浄水		水質保全	生活環境
公共下水道			

問題 宅地内の排水管を施工するにあたり、測点Aと測点Dの高低差を求めるため、次のとおり水準測量を行った。(ア)～(オ)にあてはまる数値を下の語群からそれぞれ1つ選んでください。



測量結果(野帳)

測点	後視 (m)	前視 (m)	器械高 (m)	地盤高 (m)
A	(ア)		11.550	10.000
B	1.450	(イ)	(ウ)	10.170
C	2.870	0.950		(エ)
D		1.240		(オ)

(語群)

1.380	11.240	10.670	11.450	1.550
10.000	11.620	10.950	12.300	1.240